

令和2年度 再評価対象事業一覧表（森林整備・県事業）

番号	事業名	ふりがな 路線名	市町村名	基本緒元（全体事業・利用区域面積・延長等）			事業採択	経過年数	区分	工事進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	利用区域面積 ha	延長 m						
1	林道開設事業	ひろおかいけがたに 広岡池ヶ谷線	海陽町	1,878	581	10,700	H8	25	⑥	82	<p>本県では、充実してきた森林資源を背景に平成17年から数次の「林業プロジェクト」を展開してきた。令和元年には「スマート林業プロジェクト」を新たにスタートさせ、令和10年度(2028年)までに「県産材の生産量・消費量を70万m³/年」とする戦略目標を掲げ、生産性を高める高性能大型機械に対応した路網整備を推進している。</p> <p>当林道は、県道芥附海部線と林道笹無池ヶ谷線を連絡する森林基幹道であり、急峻な地形条件や路網が未整備であることなどから、間伐などの森林整備が遅れた森林があり、路網整備が急がれている。</p> <p>当地域は、海部川流域の重要な水源地域としての森林の整備が求められているほか、緊急時における国道55号を補完する役割を担うことから、地元海陽町をはじめ森林所有者からは、早期完成を強く要望されている。</p>	継続
2	林道開設事業	かしおあさ 榎尾阿佐線	三好市	2,222	2,460 (うち国有林) (1,547ha)	11,140	H18	15	⑥	60	<p>本県では、充実してきた森林資源を背景に平成17年から数次の「林業プロジェクト」を展開してきた。令和元年には「スマート林業プロジェクト」を新たにスタートさせ、令和10年度(2028年)までに「県産材の生産量・消費量を70万m³/年」とする戦略目標を掲げ、生産性を高める高性能大型機械に対応した路網整備を推進している。</p> <p>当林道は、国道439号線と林道阿佐名頃線を連絡する森林基幹道であり、周辺の民有林をはじめ国有林でも盛んに森林施業が行われている。しかし、平成30年7月豪雨の影響で起点側が被災、森林整備事業及び林道開設工事に影響が生じている。</p> <p>当地域は、祖谷川流域の重要な水源地域としての森林の整備が求められているほか、緊急時における国道を補完する役割を担うことから、地元三好市をはじめ森林所有者からは、早期完成を強く要望されている。</p>	継続

評価対象事項の区分

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- ②事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ③事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業箇所
- ④事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- ⑤その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
- ⑥再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

令和2年度 再評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業・県及び市町村事業）

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元 全体事業費 C(百万円)等	事業採 択年度	経過 年数	区分	進捗率(%)		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
									事業費	用地		
1	道路改築事業	徳島県	一般国道439号 おちあい (落合バイパス)	三好市	L=1,895m, W=5.5(7.0)m C=4,200百万円	H13	20	⑥	93	100	当路線は、徳島市から三好市を經由し、高知県中村市に至る幹線道路で、第3次緊急輸送道路に指定されている。当区間は、幅員狭小、線形不良区間が連続するなど、交通の隘路となっている。当事業により安全で円滑な交通が確保され、観光事業等の地域振興に大きく寄与する。	継続
2	道路改築事業	徳島県	主要地方道 徳島環状線 こくふ あいずみ (国府藍住工区)	徳島市～ 藍住町	L=4,600m, W=14.0(38.25)m C=52,000百万円	H14	19	⑥	6	24	当路線は、徳島外環状道路の西側の一郭を形成し、徳島市内中心部及び周辺地域の慢性的な渋滞緩和の中心的役割を担う重要な路線である。これまでに県道徳島鴨島線から旧飯尾川間300mの区間の側道部を暫定供用している。現在は旧飯尾川～西黒田中村線間800mの側道部の暫定供用に向け、道路改良工及び橋梁工を進めている。	継続
3	総合流域防災事業	徳島県	ふくい がわ 福井川	阿南市	L=6,500m 河道拡幅 C=10,000百万円	S56	39	⑥	70	83	当河川は、阿南市を流れる河川であり、平成15年、平成20年、平成26年に浸水被害が発生した。全体改修延長6.5kmの内、下流から2.6kmが概成しているが、残る上流部の河道断面が狭く、早期改修を望む地元からの要望が強い。令和17年度の完成を目指している。	継続
4	地すべり対策事業	徳島県	おおうち 大内	美馬市	横ボーリング工 L=20,400m 水路工 L=2,100m 集水井 N=1基 C=875百万円	H13	20	⑥	86	-	当箇所は、美馬市穴吹町口山に位置し、人家22戸、市道、大内集会所（避難場所）等を保全対象とする地すべり防止区域である。現地では市道擁壁の亀裂や石積のはらみだし、湧水等が見受けられ、地すべりの危険性があることから、平成13年度より事業着手しており、令和6年度の完成を目指している。	継続
5	地すべり対策事業	徳島県	にしぼうじ 西傍示	三好市	横ボーリング工 L=9,400m アンカー工 N=16本 水路工 L=280m C=560百万円	H23	10	③	80	-	当箇所は、三好市池田町大和に位置し、人家42戸、市道、消防団詰所等を保全対象とする地すべり防止区域である。現地では市道擁壁や民家の変状、湧水等が見受けられ、地すべりの危険性があることから、平成23年度より事業着手しており、令和6年度の完成を目指している。	継続
6	急傾斜地崩壊対策事業	徳島県	みやうち 宮内	美馬市	擁壁工L=400m C=350百万円	H23	10	③	49	85	当箇所は、美馬市穴吹町口山に位置し、人家21戸及び国道492号、避難場所である集会所等を保全するため、急傾斜施設による整備を平成23年度より事業着手しており、令和4年度の完成を目指している。	継続
7	通常砂防事業	徳島県	ひがしやまじだに 東山路谷	東みよし町	H=11.5m, L=57.1m 砂防堰堤 N=1基 C=180百万円	H30	3	①	39	100	当箇所は三好郡東みよし町中庄に位置し、人家11戸及び公共交通機関であるJR徳島本線や公共施設である山路集会所を保全するため、砂防堰堤による整備を平成30年度より事業着手しており、令和5年度の完成を目指している。	継続

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元 全体事業費 C(百万円)等	事業採 択年度	経過 年数	区分	進捗率(%)		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
									事業費	用地		
8	通常砂防事業	徳島県	まつのきだに 松ノ木谷	那賀町	H=13.0m, L=56.2m 砂防堰堤 N=1基 C=180百万円	H30	3	①	22	100	当箇所は、那賀郡那賀町成瀬に位置し、人家1戸及び旧上那賀町地域で唯一となる24時間滞在型の特別養護老人ホーム、緊急輸送道路である国道193号を保全するため、砂防堰堤による整備を平成30年度より事業着手しており、令和5年度の完成を目指している。	継続
9	通常砂防事業	徳島県	こやたに 小屋谷	美馬市	H=13.0m, L=29.4m 砂防堰堤 N=1基 C=170百万円	H27	6	⑥	18	88	当箇所は、美馬市穴吹町池ノ奥に位置し、人家8戸、避難所である穴吹中学校、地域防災計画に指定された避難路、防災拠点である穴吹消防団詰所を保全するため、砂防堰堤による整備を平成27年度より事業着手しているが、未だ用地関係者の同意が得られず、今後の事業展開が見込めない。	休止
10	通常砂防事業	徳島県	にしたに 西谷	上勝町	H=13.5m, L=39.8m 砂防堰堤 N=1基 C=200百万円	H30	3	①	0	0	当箇所は、勝浦郡上勝町大字生実字東戸越に位置し、人家2戸、避難所である上勝中学校、上勝町中学校体育館などを保全するため、砂防堰堤による整備を平成30年度より事業着手しているが、未だ用地関係者の同意が得られず、今後の事業展開が見込めない。	休止
11	通常砂防事業	徳島県	しおたに ごとたに 汐谷 3号谷	阿南市	H=8.5m, L=49.2m H=9.5m, L=38.7m 砂防堰堤 N=2基 C=280百万円	H29	4	⑤	32	100	当箇所は、阿南市橘町汐谷に位置し、人家97戸、国道、要配慮者利用施設等を保全するため、砂防堰堤による整備を平成29年度より事業着手しており、令和5年度の完成を目指している。	継続

評価対象事項の①～⑦の区分

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| ① 事業採択後5（3）年目で未着工の事業箇所 | ⑤ その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所 |
| ② 事業採択後5年目で継続中の事業箇所（補助事業、砂防事業） | ⑥ 再評価後5（3）年間を経過した事業 |
| ③ 事業採択後10年目で継続中の事業箇所（交付金事業等） | ⑦ 事後評価対象 |
| ④ 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所 | |
- ※①、⑥の（）は砂防事業の場合

令和2年度 事後評価対象事業一覧表（県土整備部関係事業・県及び市町村事業）

番号	事業名	事業者	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元	事業採択年度	事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等
					全体事業費 C(百万円)等		
1	総合流域防災事業	徳島県	がくしまがわ 学島川	吉野川市	L=1,615m 河道拡幅、道路橋9橋 C=1,470百万円	H5	当河川は、吉野川市を流れる河川であり、流域内では豪雨等により度重なる浸水被害に見舞われた。平成5年度から浸水被害軽減を目的に河川改修に着手し、平成29年度に完成した。
2	総合流域防災事業	徳島県	まえがわ 前川	藍住町	L=1,250m 河道拡幅、道路橋8橋 C=2,680百万円	S56	当河川は、板野郡藍住町を流れる河川であり、流域内では豪雨等により度重なる浸水被害に見舞われた。昭和56年度から浸水被害軽減を目的に河川改修に着手し、平成29年度に完成した。
3	地すべり対策事業	徳島県	くらし 倉石	三好市	横ボーリング工 L=3,550m アンカー工 N=159本 水路工 L=250m C=598百万円	H23	当箇所は、三好市井川町井内東に位置し、平成23年9月、台風第12号に伴う豪雨により地すべりが発生し、市道や民家に亀裂が発生するなどの被害が生じた。平成23年度から対策工に着手し、令和2年2月に完成した。